

6 さがえ協力隊通信



No.2026-6-1 寒河江市で活動する地域おこし協力隊の日々の様子や取り組みをお伝えします。

寒河江市
地域おこし協力隊ページ



農林課所属

佐藤義輝

さとう よしき

地域農業振興支援
活動1年目

活動報告



収穫されたさくらんぼ

6月から農林課に所属しております佐藤です。寒河江の6月はさくらんぼシーズンで、収穫から出荷までほとんど毎日行うため、様々な果樹農家さんにお世話になり勉強させていただきました。農家さんのやり方はそれぞれ異なり、当日の天候や人員などを考えて動かれているのが印象に残っております。全体を通して昨年よりも収穫量が多いため、出荷までに色々な人の協力があるのを感じました。

特に収穫は基本早朝で、今年は気温が低かった日も多かったのですが、収穫を通して地域の方とも繋がりが広がったように感じ、とても良い経験となりました。



生涯学習課所属

財田翔悟

たからだ しょうご

地域芸術文化発展支援
活動1年目

活動報告



さくらんぼのスケッチ

さくらんぼの収穫を初めて体験しました。朝早い時間から黙々と作業していると、一つ一つを優しく収穫しなくてはならないこの行為を経て、全国に届いていくんだなと少しではありますが体感できる気がします。これまでご近所さんに「傷ものだから食べてね」と気軽にいただいていたものが、ちょっと違う見え方がしてくるものです。

そんな気持ちも込みでさくらんぼを描いてみようと思い、スケッチ。じっくり見てみると枝の色味にもさくらんぼ色が入っていることに気づいたりします。



生涯学習課所属

中根隆弥

なかね りゅうや

地域芸術文化発展支援
活動1年目

活動報告



安心できる空間づくり

文化センター内勤労青少年ホームのお庭にて、寒陵スクールの子どもたちと一緒にいえづくりをはじめました。きっかけは、寒陵スクールの中に年齢、学年に囚われず分け隔てなく接することができる安心した空間が広がっていると感じたところが大きかったように思います。そんな空間を外にも作ることができたら素敵だと感じて始めてみたところ、子どもたちも一緒に作ってくれるようになりました。「こうしたらもっとよくなるんじゃない？」と言った声かけや行動、家で看板を作ってきてくれるなど、自発的な行動も見ることができました。これからこの空間がどのように広がっていくのか、とても楽しみです。

6 さがえ協力隊通信



No.2026-6-1 寒河江市で活動する地域おこし協力隊の日々の様子や取り組みをお伝えします。

寒河江市
地域おこし協力隊ページ



農林課所属

三浦一志

みうら かずし

地域農業振興支援
活動2年目

活動報告



さくらんぼをお届け

6月はほぼ、さくらんぼの収穫作業で1ヶ月があっという間に終わってしまいました。今回初めて自分で園地を管理させていただき、昨年とまた違った大変さであったり、本当の意味で管理していくことの大変さを学ぶことができた1ヶ月でした。

そして取れたさくらんぼを寒河江学園の皆さんに食べてみていただきたいということで寄贈させていただきました！快く受け入れてくださった寒河江学園様、ありがとうございます。今後も農作物や作業を通じた交流の機会を持っていけるとありがたいなと思いました。



さくらんぼ観光課所属

廣瀬俊典

ひろせ しゅんすけ

物産振興支援
活動2年目

活動報告



羽田空港にて紅秀峰PR

6月19日に羽田空港にて「紅秀峰」のPRイベントに参加しました。私は紅秀峰にプラスして、幸生牛のPRも行いました。

前日に現地入りして準備を済ませ、イベントに臨みました。PRに伴い、実際に紅秀峰の販売や、購入金額に応じた抽選会などを行いました。抽選会の景品として幸生牛が当たるといような、幸生牛を知るだけではなく実際に食べられる導線も作り多くの方にお立ち寄りいただけました！

羽田空港でのPRはイベントには初参加ということもあり、非常に楽しみながら本イベントに従事でき、良い体験になりました！



生涯学習課所属

長谷川仁

はせがわ じん

地域芸術文化発展支援
活動1年目

活動報告



田植えが済んだ田んぼ

家の周りの田んぼでも田植えが始まりました。田んぼの姿が一年かけてどんどん変化し、風景の色が移り変わっていくのが面白い。水を入れた時は水鏡となって空色になり、稲が育ち緑色、稲穂が垂れる頃には一面金色、収穫が終わると枯れた土色になり、冬に雪が積もると一面真っ白になる。田んぼがずっと続いている景色に出会うと一面同じ色なのでハッとします。

こうした日々の変化を楽しみながら暮らしてゆきたいものです。